

佳作

いのちをすくうAED

神奈川県 湘南白百合学園小学校二年 田邊 小町

「あっ。あそこにもあった！」

わたしは今日もまた、AEDのマークをスーパーで見つけました。

ずっと前から、ハートにいなずまがおちているように見えるAEDのマークがこわくかんじていました。お出かけをするときあちこちにAEDのマークがあつて、思わず下をむいてしまっていました。

AEDについてしらべると、AEDは、しんぞうがけいれんしてけつえきをながすことができなくなった時、でん気ショックをあたえて元のリズムにもどすためのきかいであることがわかりました。そして、つかいかたを音せいでせつめいしてくれてだけでもつかうことができるので、人が多くあつまるびょういん、えき、空こう、学校、スーパーなどにおかれていたことも知りました。

なつ休み中、きゅうめいきゅうきゅうの体けんをすることができました。しんぞうマッサージとAEDのつかいかたを教えていただき、人形をつかって、はじめてやってみました。

しんぞうがうごかなくなった時、一びょうでも早くAEDをつかってでん気ショックを行なうことが、たおれたかたのいのちをすくうために大切であることを教えていただきました。思っていたよりもかんとんにできたので、たくさんの人がしんぞうマッサージのやりかたとAEDのつかいかたを知ること、たすかるいのちがふえるのではないかと考えました。

今では、AEDのマークのデザインがみんなに見つけてもらいやすく、いみがたつわりやすいものになっていると知り、その大切さがわかってきました。マークを見つけたら下をむいてしまうことはなくなりました。それより、どこにAEDがおいてあるのかをさがすようになってきました。

「このたてもものにもAEDのマークがあるよ！」
と、かぞくにつたえています。

これからも、きゅうめいについてべんきょうしたり、れんしゅうしたりして、人のやくに立てるようになりたいと思います。